

I 現状評価及び基本的考え方

- ・県立米沢女子短期大学（以下「米短」）は、2年間で充実した教育が実践されていることで地域社会からの信頼と高い評価を得ている。米短が持つプラスの側面を自覚し、しっかりと外に打ち出していくことが必要。
- ・米短の独自性を認識し、他大学との差別化・ブランド化を図っていくことが重要。米短の実情に応じて、社会の変化やニーズに対応した大学の体制やカリキュラムの検討などの取組みを戦略的に進めるべき。
- ・全国的に短期大学を取り巻く環境は厳しく、男女共学化や4年制大学化なども視野に入れた展開も考えるべき。

II 魅力向上に向けた具体的な取組み

●魅力を伝える

1 学生目線・保護者目線での情報発信の強化

- ・学生を巻き込みながら、効果的で持続可能な情報発信の仕組みを構築
- ・学生自身の手で自然に拡散させていく「学生参加型広報」の強化
- ・SNSでの広報に係る専門家からの助言

2 高校・中学校とのコミュニケーションの推進

- ・米短生による高校へのPRや探究活動支援など、高校生との接点づくり
- ・高校教員に対して米短の存在意義や役割をアピール
- ・教育委員会と連携し、中学生が大学に触れる機会を設ける

●魅力を高める

1 米短の強みや独自性の維持・拡大

- ・強みである編入学支援をさらに充実
- ・教員、司書等の資格取得を強力に発信

2 学生本位のカリキュラムや入試制度の改善

- ・社会情報学科の拡充を検討すべき
- ・地域活動をテーマにした学びの機会の提供

3 地域・行政との連携強化

- ・米沢市と連携し、地域全体で学生を呼び込み学生が活躍できる取組みの強化

4 大学へのアクセスや大学施設など学修環境の充実

- ・米沢市と協力した交通アクセスの改善
- ・オンライン環境を含めた計画的な施設改修

●魅力を広く還元する

1 米短での学びをより幅広い層に提供

- ・総合教養講座など地域住民に対する公開講座の充実
- ・男女共学化の実現に向けた検討が望まれる。一方で、男子学生獲得のための取組みも併せて検討が必要
- ・4年制大学化についても長期的視点に立ち、継続的に検討すべき

2 地域活力の向上に貢献

- ・施設開放等大学を身近に感じてもらう機会を新たに提供
- ・探究活動への支援など高校や自治体への米短教員による協力の継続実施
- ・地域連携を担う窓口を、米沢栄養大学の窓口と一本化することを検討すべき

